

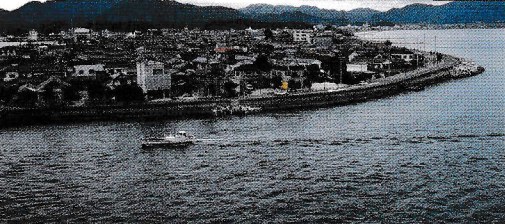
長編劇映画

みすず

MISUZU

天使の足のふむところ

青いお空の底ふかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまで沈んでる、
昼のお星は眼にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。



ふるさとの生んだ天才童謡詩人金子みすゞが映画になります。

わたしたちは、親子がいっしょに観られる映画にしたいと
思っています。映画づくりにぜひご協力ください！

製作協力券の売上を映画の製作資金の一部に致します。

●製作協力券発売中！

1,000円 (税込)

(2001年上映予定、上映会場は下記映画「金子みすゞ」製作委員会までお問合せください)

監督：五十嵐 匠 主演：田中 美里

(「SAWADA」「地雷を踏んだらサヨナラ」)

(「あぐり」「一本の手」)

●企画：株式会社紀伊國屋書店 ●製作：映画「金子みすゞ」製作委員会・株式会社桜映画社・株式会社ポルケ・山口県映画センター ●制作協力：山口県シネクラブ協議会
●後援：山口県・山口県教育委員会・長門市・長門市教育委員会・下関市・下関市教育委員会 ●お問合せ：映画「金子みすゞ」製作委員会 下関本部TEL0832-28-2121 仙崎事務局TEL0837-26-5080

詩提供：「金子みすゞ全集」(JULA出版局)より 写真提供：金子みすゞ著作権保存会 ポスター・製作協力券デザイン：毛利一枝

製作協力券の売上を映画の
製作資金の一部に致します。

長編劇映画

みすゞ

天使の足のふむところ



ふるさとの生んだ天才童謡詩人
金子みすゞが映画になります。

ねんねした間になにかがある。

うすもいろの花びらが、

お床の上に降り積り、

お目々さませば、ふと消える。

誰もみたものないけれど、

誰がうそだといえましょう。



まばたきするまに何がある。

白い天馬が翅のべて、

白羽の矢よりもまだ早く、

青いお空をすぎてゆく。

誰もみたものないけれど、

誰がうそだといえましょう。

……見えないもの

金子みすゞは1903年（明治36年）山口県長門市に生まれました。

26年というその短い生涯の中で500余りの詩を残しています。

ふるさとの自然をいつくしみ、いきものを愛し、土や雪の気持ちを
優しいところでうたいあげたみすゞ。

みすゞの詩は、時代を超えてわたしたちに訴えかけます。

大正から昭和のはじめ…

この時代に自由でファンタジックな世界をつくりだし、
ものの新しいみかたを教えてくれた天才童謡詩人みすゞ…

スクリーンでみすゞと会えるのも、もうすぐです。

●お問い合わせ・ご購入は

●映画「金子みすゞ」製作委員会 下関本部 TEL0832-28-2121（山口県映画センター内）仙崎事務局 TEL0837-26-5080

●馬関シネクラブ●西京シネクラブ、防府シネクラブ●周南シネクラブ、光シネクラブ、柳井シネクラブ●うべシネマクラブ、小野田シネクラブ●いわくに名画クラブ